

◎地域ブランドづくり

市内の景観や自然、歴史、風土、文化、素材、人材などの地域資源を十分に活用した新たな商品や製品の開発支援を行うとともに、情報発信の手法に意匠を凝らし、安全・安心を基本に据えた商品の価値や認知度を高めるための推奨制度を設け、『のぼりべつブランド』の確立に努めます。

◎観光

国内外の観光客誘致活動を行う登別観光協会をはじめ、登別市・白老町観光連絡協議会や西いぶり戦略的観光推進協議会の活動を支援します。また、昨年完成した温泉バイパスや泉源公園、天然足湯などを活用しながら、新たな観光資源の発掘に努めるとともに、それぞれの特色を生かしながら周辺自治体と連携を図り、魅力ある観光地づくりに取り組まします。



▲大湯沼川天然足湯

◎カルルス温泉サンライバスキー場

冬季の観光振興、ウインタースポーツの振興およびカルルス地区の活性化を図るため、引き続き安定運営

に努めます。

◎農業

ゆとりある酪農や畜産経営の安定化に向け、引き続き酪農ヘルパー事業や市牧場の開設による集約的な放牧利用の促進を進めるとともに、付加価値の高い農畜産物加工への取り組みを推進します。

また、農業と観光との連携を進める取り組みとして、農畜産物加工や農作業体験などの活動を通し、都市住民と農村地域の住民との交流を行うグリーンツーリズム活動の推進が図られるよう関係者との協議を進めます。

◎林業

森林のもつ水源の涵養機能のほか、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する重要な役割を担うことから、民有林の造林や間伐などの保育、育林を促進します。

◎水産業

『つくり育てる漁業』の推進に向け、いぶり中央漁業協同組合や白老町と連携し、漁業専門員の配置を継続するとともに、えりも以西栽培漁業振興推進協議会によるマツカワ（王蝶）の放流事業を推進します。また、漁業者が安全・安心に操業ができる環境づくりや触れ合い機能のある漁港整備を促進するとともに、水産業と観光産業の連携を強め、地場水産物の直売などによる地産地消の拡大など、『登別・白老（虎杖浜）

地域マリンビジョン』の推進を図ります。



▲登別海鮮直売市

重点施策③  
ぬくもりのあるまちづくり

住み慣れたふるさと『のぼりべつ』で、誰もが生き生きと健康に日常生活を営み、人と人との触れ合いの中にぬくもりを感じる事ができる地域社会を実現するため、行政はもちろん、市民一人一人が互いに支え合うまちづくりに取り組む必要があります。

◎地域医療

西胆振医療圏においても医師の不足は大きな問題となっており、総合病院の診療機能が低下し、救急医療などに大きな影響を与えています。中でも、病院勤務の小児科医が不足してきており、これまでも同様の診療体制を維持することが困難となっています。

救急医療体制の確保に向け、関係

機関と連携を取りながら地域の医療体制の確保に努めます。

また、当地域における看護師不足に対応するため、市立室蘭看護専門学校が移転改築され、この中で定員を拡大することとなっていることから、この拡大分の一部について整備費と今後の運営費について負担します。

登別厚生年金病院については、救急医療の一翼を担うなど、地域医療にとって重要な病院であることから、国の動向を踏まえ近隣市町の協力を得ながら、今後とも存続活動を進めます。



▲登別厚生年金病院

◎子育て支援

進行する少子化に対応するため、『次世代育成支援対策推進法』に基づき、『登別市次世代育成支援行動計画』の前期計画を策定し、安心して子どもを産み、健やかに育てる環境づくりに努めてきました。さらなる取り組みの充実・推進を図るため、平成22年度から平成26年度までの後期計画の策定に取り組みます。